

HUMANE
INTERNATIONAL
NETWORK
(HINT)

HINT News Letter No. 27 目次

page1-3: アフリカ事業 2007 年度年次報告
page3-5: インターナショナルデイに参加して
page5: 会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿
page6: 事務局からのお知らせ

HINT アフリカ事業 2007 年度年次報告

アフリカ担当 高橋章

コンゴの現地コーディネーター、ムサギ・タデーさんから2007年度の年次報告が届きました。

1995年以來 HINT は、コンゴ民主共和国東部の都市ブカブにおいて、内戦や1994年に起こった隣国ルワンダ虐殺によりルワンダから流れ込んできた難民の影響で、教育を受けることができない子供たちに支援を続けている。

1 奨学生の状況

① 初等中等教育への支援

小学生 33名 (女子 19名、男子 14名)

中高生 50名 (女子 19名、男子 31名)

② 大学教育への支援

大学生 17名 (女子 6名、男子 11名)

2 学用品等支援の状況

① 小学生への支援内容(生徒1名に対し) スケッチブック1、練習帳1、赤ボールペン1、青ボールペン2、鉛筆1、色鉛筆セット1、算数セット1、ノート(100ページ)6、ノート(36ページ)11、ノート(200ページ)4、石板1、定規1、消しゴム1、ペンシルタッチ1

② 中高生への支援内容(生徒1名に対し) スケッチブック1、赤ボールペン2、青ボールペン4、鉛筆1、色鉛筆セット1、算数セット1、ノート(100ページ)5、ノ

ト(36ページ)20、ノート(200ページ)5、日記帳1、定規1、消しゴム1、原稿用紙1

③ 大学生に関しては、学用品を支給し、寮費、書籍代を支払った。

上記に加えて、制服を購入できるよう HINT 理事会に要求したが、私たちの要求した予算の制服代は認められなかった。何人かの生徒は、定期的に学校に通うことが難しい状態だった。というのは、学校当局は制服を着ていないからだめだというのだ。

さらに、小学生から大学生までの生徒の増加によって、食料を支給することができなかった。

3 家族の状況

不安定な政治情勢の中、巨大な権力による暴力が横行し、学生の家庭では、略奪、虐殺、強盗、性的暴力、武力勢力による子供の強制的入隊、インフラの破壊などに直面した。また、人口のはなはだしい移動により、地域や家庭の力が低下した。ある家庭では、家族を養うことができなくなり、子供の教育は家族にとって重い負担となった。

現在は、新しい勢力による選挙が行われ、民主的な選挙態勢が敷かれ、政治の変革に希望がみえてきた。南北キブ州では、平和的に経過していて、未来に希望的観測がもたらされている。

4 健康状況

政府は保健施設の再建や、修復に取りかかっているが、10年間におよび内戦の影響が見えてきた。飢餓、栄養失調、エイズ、マラリア、下痢などが広がった。失業は人々の健康を侵した。なぜなら、親が家族のために医療費を支払うことができなくなるからである。

いくつかの人道機関が、最も影響のひどい地域だけであるが、医療体制を提供した。といっても、入ることができるところだけであるが。

5 経済状況

主として道路などのインフラの欠如や、企業活動ができないことなどが、経済状況を悪化させている。人々は主に農業に従事しているが、現在、農作物を売買できる市場がないため、農業もできない。

工業製品はとて価格が高く、農民は手にすることはできない。

都市では、食物の価格が高騰し、しかも輸入品であるので、生徒のために食物を入手することが難しくなっている。

下記はその一例である。

○米 25kg=USD15~50 超

○豆 25kg=USD30~90 超

○一人当たりの学費(小学校 1 学期分) = USD6~10

○一人当たりの学費(中高 1 学期分) = USD10~25

○一人当たりの学費(大学 1 学期分) = USD30~90

○教師の月額給与=USD20~35 (これは中央政府が定めた額)

6 社会の状況

国立学校の教師の給与は未払いであり、いつも教師はストライキを行っている。

2008年2月3日ブカブで地震があり、多くの住宅や学校を含む建物が破壊された。これは人々の生活に衝撃を与えた。現在、私たちの事務所もそうだが、賃貸費が急騰している。HINT事務所は月額USD150を要求されていて、2008年6月には6か月分を支払わなければならない。

7 治安状況

都市では状況は改善されている。国連軍が常駐している。しかし、近々東部コンゴに拠点のある旧ルワンダ軍と戦闘が始まることを人々は恐れている。

8 政治状況

ブカブには、次の領事館(アメリカ、フランス、ベルギー、ドイツ、イタリア)があり、運営中である。コンゴの外交が修復される兆候がある。

9 開発の状況

今までの緊急対策を含むいくつかのNGOは、復興活動を計画している。下記のNGOが南キブ州で活動中である。

ICRC(赤十字国際委員会)、UNICEF(ユニセフ)、FAO(国連食糧農業機関)、WFP(国連世界食糧計画)、IRC(International Rescue Committee)、FHI(Family Health International)、Save the Children、Christian Aid、Tear Fund、MSF(国境なき医師団)、ACF USA(Action Against Hunger USA)、Women for Women

昨年、緒方貞子氏率いるJICA(国際協力機構)が首都キンシャサで活動を始めたということを知り、私たちはとても喜んでいる。JICAが常駐することはコンゴの人々にとっては喜びである。

10 未来展望

下記の活動を計画している。

○HINTの名称を冠した学校を創設すること。(HINT SCHOOLなど)

○地方で始まった教育支援活動の継続とともに、多くの地方へひろげていくこと。

この年次報告は、東部コンゴでの、今までの私たちの活動の成果と未来への希望を表している。

現地コーディネーター：ムサギ・タデー

HINT の支援で大学を卒業した学生のその後の就職状況です。

- 1 ビガーノ・スーザン (女性)
看護師 給与月額 USD45 (約 5400 円)
- 2 ムガンザ・クルヤ・ガビー (男性)
教師 給与月額 USD45 (約 5400 円)
- 3 イルテロ・ムボボッチ (男性)
求職中
- 4 サディキ (男性)
ソーシャルワーカー 給与月額 USD60 (約 7200 円)
- 5 エササ・ワレンガミナ
教師 給与月額 USD45 (約 5400 円)
- 6 ビヤムウィテンガ (男性)
医師 給与月額 USD134 (約 16080 円)
- 7 タベ・カンキスウンギ (男性)
経営者 給与月額 USD112 (約 13440 円)
- 8 ムサグワ・カンゲラ (男性)
行政官 給与月額 USD112 (約 13440 円)
- 9 ムブンバ・カロンゴ・フィフィ (女性)
銀行員 給与月額 USD100 (約 12000 円)
- 10 カンキシング・ムカンビルバ (男性)
大学教授 給与月額 USD112 (約 13440 円)
- 11 シャバニ・ムトウンドウ (男性)
求職中

年次報告にあるとおり、現地の厳しい状況は続いています。物価高騰も激しく、人々の生活は辛苦を極めています。そんな中でも、コンゴでは勉強を望む子供たちが多くいます。HINT はその子供たちの希望に応えていきたいと思っています。

また、HINT の支援により大学を卒業した学生も、仕事のない中でも多くの学生が就職し、新たな国づくりに励んでいます。

これからも、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

インターナショナルデイに参加して

2008年4月27日(日)東京カテドラルでインターナショナルデイが開催されました。インターナショナルデイは、毎年春に行われる、カトリック教会の在日外国人との交流を深める催しです。昨年は大聖堂の改修工事で開催されなかったもので、2年ぶりの開催でした。HINTはサングリアとベトナム雑貨等での出展をしました。ボランティアでお手伝いに参加してくださった方の感想をご紹介します。



HINT 雑貨販売ブースの様子

* サングリアはいかがですか *

会社員 國府俊明

インターナショナルデイの日は、前日の午前1時まで飲んでいたので、眠い目をこすりながら出かけていきました。HINT のお店はサングリア(果物入りワイン)とベトナム小物の2種類があるのですが、私はサングリアのほうを担当しました。

日ごろコンピュータの前に座ってばかりの仕事なので、呼び声ひとつかけるのにも、なかなか努力がいります。でも、やっているうちに慣れてきて平気になりました。サングリアのお店は場所が悪く、売れ行きが危惧されたのですが、午後から事務局に頼んで場所を移動したら、大変な盛況で終了時刻の1時間半位前には、売り切れてしまいました。

前年がカテドラルの工事で、開催できなかった事もあって、いまひとつ小規模なインターナショナルデイでしたが、HINT にとっては大成功の一日でした。

* 国際色豊かなインターナショナルデイ に参加して *

歯科医 若林和子

インターナショナルデイを訪問したのは、3年ぶり2回目。前はちょっとしたのぞく程度でしたが、今回は何かお手伝いが出来ればと、HINT ブースでベトナム民芸品などの担当をさせていただきました。

3年前も驚いたのですが、目白駅からカテドラルに向かうバス乗り場は長蛇の列。鮪詰め状態のバスには様々な国の方々が乗り合わせ、すでに国際的な雰囲気があります。椿山荘前のバス停に着くと、乗客のほぼ全員が降りてバスはからっぽ！

カテドラルの庭にはすでに各ブースのテントが立ち並び、料理を仕込むいい匂いが漂っています…が、3年前に比べてだいぶ規模が小さくなったなという感じで、信徒会館地下のバザーコーナーのブースに立っていてもなんとなく客足が寂しい。

聞くところによると 「インターナショナルデイ本来の意義に立ち返るため、お祭り騒ぎは最小限にしよう」という方針で、食べ物や飲み物（特にアルコール類）の販売を減らしたという事でしたが、これはいかなるものかと疑問を持ちました。当日はとても暑かったこともあって、最後の頃には飲み物は全て売り切れ、自動販売機も空っぽ。近くにコンビニなどの店もないため、困った方も多かったようです。

国際ミサはちょっとした舞台のようでとても興味深く、各国語に訳されるため時間は長かったものの、未信者の方が参加されても充分楽しめるものではないかという印象でした。

宣教という事を考えると、カトリックに興味を持っていただくという機会として、そしてこれだけ多くの国の方々が同じミサにあずかっているという事を感じていただける場としての「お祭り」であって良いのではないかと考えています。

* HINT が与えてくれたヒント それは公共競争 *

会社員 薩川隆一

4月27日東京カテドラルにおいて行われた第17回インターナショナルデイに、HINTの一員として参加する機会を得た。私にとっては久しぶりのNGO、NPO活動。普段日曜日の午前中は寝ている私。この日だけは寝坊は許されない。いつもは使わぬ目覚まし時計を使い飛び起きた次第…。

私は、HINTのブースのひとつである屋外模擬店において、サングリアの販売を行った。HINTのもうひとつのブースでは、ベトナム、コンゴなどの民芸品、雑貨などを売っていた。この収益金をHINTの活動に充てるためだ。

今回のバザーはワールドバザーということもあって、たくさんの方が訪れていた。特に大聖堂で行われた国際ミサの終了後はたくさんのカトリックのクリスチャンの恵みを得た。あつという間にサングリアが無くなってしまったのだ…。

反省点があるとすれば、私の“習性”がついでてしまったことかもしれない。何と、さっきまで大聖堂でミサを仕切っていた司祭様にまで、「そこのお兄さん」と声をかけてしまったことである。ひよっとしたら、私の先祖は的屋なのか！？でもさすがそこは司祭様、“すべての人に対してすべてのものに”なっていました。（第二コリント9章）「サングリアいっぱいいただくよ」と言ってくださったのです。ああ！神様！何という寛大さか！

インターナショナルデイには、HINT以外にも約50団体近いNGO、NPOに従事する人々が、それぞれにいろいろなものを持ち寄って、恵まれない多くの国々の人々のために、バザーを展開していた。そこで学んだことは、それぞれの国やその国民が、どのような状態に置かれているのかがよく分かったことだ。

人は普通、自分の会社や自分のために動き働くものだ。でもここに集まってきている人たちは違う。このかけがえのない

い地球に住むひとりひとりの幸せのために、競争しているのだ。特に屋台間の競争は、活気があってとてもすばらしかった。公共の価値、よい意味での競争の理想型をみた思いである。資本主義の競争的共存ではなく、これは公共的競争といってよい。一言で言えば、公共競争、人々の幸せのための競争である。現代社会がその資本主義のあり方においてその歪みを露呈している中、このインターナショナルデイの光景は私の眼を覚まさせてくれた。

その意味で、今回、HINTが与えてくれたヒントは、私に大きな贈り物をしてくれたのである。本当にそう思っている。感謝！



こんな愉快的な出し物もありました！

お手伝いしてください！

HINTはサラリーマンが中心になって活動をしています。二足のわらじは時には忙しく、目は回っても、手が回らないことがあります。お手伝いして下さる方を緊急に募集しています。

パソコンが得意な方、名簿の管理をお願いします。計算が得意な方、会計のお手伝いをお願いします。金はないが力はある方、イベントの荷物運びを手伝ってください。きっとお手伝いいただけることが見つかります。

理事会は毎月最終土曜日16:00からエポペで開催しています。会員でなくても、役員にならなくても、参加できます。

一度のぞいてみませんか。

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿 (2007/11/1~2008/4/30・順不同・敬称略)

松本良三	都藤清美
森川浩一郎	高円寺南診療所
高沢佳代乃	比留間博之
寺田京	末吉孝幸
島田恒	キリヤマ ファイン アーツ
市川幸一	有限会社石田 石田達也
山田篤	古城かほる
岸田万紀子	長野圭子
挟田二郎	門田俊一
小橋朋子	行山武志
志立託爾	神山智子
田中三一子	岡田明美
佐賀邦夫	佐輔和生
藤井靖彦	津田直幸
櫻井洋	品田和之
神山和美	永見真孝
安藤秀樹	村上夫光子
末永恵子	カトリック北町教会
副島和穂	酒井匠
碓井徹	長本孝一
築木純夫	川崎さとみ
支倉崇晴	長谷部恒夫
岡田多恵子	野坂俊弥
岩佐みつ江	川井貞子
小林貞	加藤順子
熊切泰子	篠塚彰
荘芳子	鈴木 静子
西道弘	笹克則
上村武夫	三橋重一・理江子
秋田妙子	聖アントニオ神学院図書館
匿名の皆様	

ご支援・ご協力ありがとうございました。

★上記期間内に会費を納入されている方やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINT は皆様の会費で運営されています。年会費 5000 円で、ベトナムでは約 500 人分の給食を提供できます。コンゴでは中高生約 2 人分の 1 年間の学費です。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

★2 年間会費のお振込みのない場合は、会員資格を失い、以後ニュースレター等の送付が行われなくなります。

★振込み先は、下記をご覧ください。郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

★振替用紙は郵便局からコピーが届きますので、判読しづらい場合があります。楷書で分かりやすくご記入いただきますとたいへん助かります。

★引き続きご支援くださいますよう、よろしく願いいたします。

会費振込先

お振込みは同封の振込用紙を使用していただくか、下記口座へお振込みくださいますよう、お願いします。

○賛助会員：1 口 5,000 円から

○学生会員：1 口 2,000 円から

会費の振込先

■郵便振替口座：00120-2-47868

口座名義：ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■銀行口座：三井住友銀行 新宿支店
普通預金 3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

HINT 事務局からのお知らせ

《活動報告》

●インターナショナルデイに出展しました

日時：2008年4月27日(日)

場所：東京カテドラル

昨年は大聖堂が工事のために開催されなかったもので、2年ぶりの開催でした。開催を待ちわびた人々で大盛況でした。好天に恵まれ、サングリア（フルーツ入りワイン）が好評でした。ボランティア参加者の感想文がP3-5にあります。併せてご一読ください。

● 2008 年度 総会及び活動報告会を開催しました

日時：2008年6月28日(土) 16:00～

場所：エポペ

2007 年度活動報告、2007 年度決算、2008 年度役員改選、2008 年度活動計画、2008 年度予算計画等を討議の上、決定しました。

詳しくは次回のニュースレターでご報告させていただきます。

●ホームページアドレスが変わりました

新アドレスは下記のとおりです。分かりやすいホームページ作りに努めてまいりたいと考えています。皆様のご意見をお聞かせください。

<http://www.epopee.co.jp/hint>

<特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク (HINT) 事務局>

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 1-2-8 第 2 ヲイザ・ド・セブン 4F エポペ内

TEL: 03-3232-8363 FAX: 03-5272-3040

E-mail: hint@epopee.co.jp

Web: <http://www.epopee.co.jp/hint>